

平成29年度第2回玉野市教科用図書選定委員会 会議録

平成29年7月20日（木）

玉野市庁舎4階 第1委員会室

1 開会（会長）

採択の基準に最も適合したもの、子どもたちの道德教育に最も適したものを選定していきたい。

2 経過報告（事務局）

要項に沿って説明

3 採択に係る意見書について（事務局）

意見書について説明。

（学校教育課長）各団体からの要望を報告する。数団体から要望があった。道德の教科化については課題を感じていること、道德的価値観の押しつけにならない授業となるべきこと、子どもたちのためになる教科書採択をお願いしたいこと等の要望があった。

教育委員会では、「考え、議論する玉野市の道德教育」を目指しており、教員の指導力向上も取り組んでいくことを伝えている。

4 説明・協議

（1）経過報告について（事務局）

（2）審議の仕方について（事務局）

（3）研究委員の報告

（研究委員）研究報告書に沿って、総合所見を中心に説明する。今回、特徴として8社のうち2社が教科書とは別に道德ノート、1社が別冊をつけていた。研究委員会では、道德では評価もあるため、ノートの取り扱いをどのようにするかをしっかりと話し合った。

道德ノートには自分の考えを書いたりできるが、ノートの活用の仕方については工夫が必要である。教員は、ワークシートを作り、道德ファイルに入れる等の工夫をするため、一概に道德ノートの有る無しでは判断できないと考えた。

（選定委員）教科書の中に発問があるものないもの、学習活動が示されているものないものがあるがその点についてはどういった議論になったか。

（研究委員）いろんな意見が出たが、発問等があることで子どもたちが考えやすくなること

も想定されるが、授業者が考える授業の構想と教科書の発問等がズレているような教材もある。あるからだめ、無いからだめということにはならないと判断した。

(選定委員) 若手の先生には道德ノートがあればいいと思うが、教員として成長する中で、妨げになることもあるのか。

(研究委員) 道德ノートについてはしっかり議論した。若い先生はこれがあることで授業を進めやすいと思う。しかし、縛られてしまう面もあり、使い勝手がよくないと考える意見もあった。研究委員会では、授業で何を考えさせたいか教員が考えてワークシートを作る方が効果的であると判断した。

(選定委員) 保護者欄があると効果的だと思うが。

(研究委員) 道德ノートがあってもなくても保護者とのやり取りはできる。

(会 長) 大変時間をかけて協議していただいた。教出の内容項目で、若干特色が強いと言われたが、具体的に教えて欲しい。

(研究委員) 内容項目の分量に差があったという面が見られた。「公正・公平」に力を入れたいと思う学校では、組み替え、補充をする必要があると感じた。

(選定委員) 多面的に研究していただいた。各教科書の教材だが、今まであった題材や現代的な課題を扱った題材等があったが、そのあたりの意見は？

(研究委員) 研究委員会でも、いじめや情報モラルについてはチェックをしていった。どの教科書にも掲載されていた。特にその内容で優劣はなかったと感じている。教出は、偉人についての内容が多いという特徴があげられる。

(報告者退席)

#### (4) 協議

(会 長) 選定委員会報告書の案を作成していただいている。順に検討していきたい。まずは、記述内容を検討した後、評価をしながら選定協議をしていきたい。

(選定委員) 東書に読み物という表現があるが、教科化であるため教材という言い方の方がいいと感じる。

(会 長) 修正をしていくがどうか。

(選定委員) 賛成する。

(選定委員) 学図の読み物は固有名詞であった。

(会 長) 若干マイナス面の記述が多いものもあるが。

(選定委員) 光村を研究したが、年間を4つのまとまりにしている特徴があったが、そうした記述も必要ではないか。

(会 長) 報告書にある4つのまとまりの部分を入れていくようにするがどうか。

(選定委員) 紙質が控えめとはどういうことがわからないので、表現を変えた方がよい。

(選定委員) 光村は文字の大きさ、情報量の多さによって、若干読み辛さを感じたので、標

記した方がいいのでは。低学年を見たが、ちょっと読みにくいのでは。

(選定委員) 同感である。

(会 長) そのように記述を修正したい。

(選定委員) 光文は教科書サイズが大きく、小さい子は目を大きく動かさなくてはならず、読みにくいかと思う。

(選定委員) 一番大きいのは学研。光文は他の教科書と変わらないのではないか。小学校で使用している教科書はA4サイズか？

(選定委員) 揃っているわけではない。

(選定委員) 幅広サイズの教科書はランドセルギリギリである。

(会 長) では、評価をしていきたいと思うが。意見書についても参考としながら考えていきたい。

(選定委員) 意見書にもあったように、教育の中立性、様々な家庭環境にある子どもたちがいるので、そうしたことも考慮しながら選定をしていきたい。

(選定委員) 東書については、総合的にふさわしいのではないかと考える。

(会 長) 特にマイナス的な面も見受けられなかった。ふさわしいとして評価できるかどうか。

(全 員) 異議なし。

(選定委員) 学図の中の問いかけに「本当の～とは」というものが多い。道徳的な価値観の押しつけになってしまっているといけないので、担任の配慮が必要である。正解が一つのように感じられる。

(選定委員) 意見書の中に教出の5年生に安倍首相が掲載されているとあったが、その点はどうか。

(選定委員) 下町ボブスレーの話であったが、内容は特に問題はなかった。しかし、教出は確かに内容項目に偏りがあったのは感じた。

(選定委員) 総合的には、使用できるぐらいの評価となる。

(選定委員) 光村は国語の教科書で使っている。文字の読みづらさもあるが、挿絵の印象が古典的な気もする。文章が長い題材が多い。文章はもう少し短い方がいいように思っている。

(選定委員) 2年生の光村を読んだが、この文章の長さは低学年にはちょっと長すぎると思う。子どもにとっては読み切れないかもしれない。

(選定委員) 意見書が光村を押しているものが多いが、理由を読んでも、光村の良さは書いていなかった。よくわからないのが正直なところである。

(会 長) 総合的に使用できる評価だと思われる。

(選定委員) 道徳ノートがあることで、自由度もやや低くなるのと考えられるので、使用できる評価と考える。ノートのあるなしで考えてもいけないのだが。

(会 長) 光文は情報量が多いという意見であったが。

- (選定委員) 光文はいろいろ書き込んだページが多く、情報量が多いと感じていた。
- (選定委員) 1年生のものなど見ると、絵が大きくおもしろいとは感じていた。
- (選定委員) 高学年になると下の段に問いかけが多く出てくる。繁雑な印象は否めない。必要以上の問いかけがあるように感じる。
- (選定委員) 教員が授業を構成する上で、ねらいに迫ろうとするとあまり教科書自体に問いかけを書いて欲しくないこともある。
- (会 長) では、使用できるという評価でよいか。
- (選定委員) 賛成である。
- (会 長) 学研については、一番大きいサイズの教科書であったがどうか。
- (選定委員) 確かに挿絵のインパクトは強すぎるか。大きさも若干課題である。
- (会 長) では使用できるという評価となる。
- (選定委員) 「この人に手紙を書きましょう」とか、「どうすればいいか書きましょう」等、限定的な問いもあり、扱いにくいかもしれない。
- (会 長) 教科書自体はきれいだと思う。総合的には使用できるという評価でよいと思う。では、全体的に見直していきたい。
- (選定委員) 私は保護者の立場から見ると、学研は大きくて挿絵も子ども目線から見ればいいのではないかと感じている。
- (選定委員) いらぬものがなく、すっきりしているのでいいのではないかと。
- (会 長) では、使用するのに適しているという評価に修正してよいか。
- (選定委員) すっきりしていいと思っている。持って帰るのは大変かもしれないが魅力はあると思う。そのような評価に賛成である。
- (会 長) では、学研は使用するのに適しているという評価とする。
- (選定委員) あかつきもいいと思っていたが、ノートに関する議論を聞いて悩んでいた。担任の工夫は必要だが、あかつきの教科書の方は、すっきりしてよいと思っている。
- (選定委員) 保護者として道徳ノートを使わず返ってくるとどう思われるか不安なところ。
- (会 長) 使い方によるが、いいのではないかと感じている。道徳ノートの有無で評価をしないのであれば、適しているという評価でいきたいがどうか。
- (選定委員) 賛成である。
- (選定委員) 光文は下の段がなければいいと感じている。
- (選定委員) 日文は道徳ノートがついているが、友達の意見を書くようになっており、話し合いでも使える工夫があると感じている。
- (選定委員) 日文は教科書の表紙を見ると理科の教科書のように思った。児童が混乱するかもしれない。
- (会 長) では、評価はこのままで。次に東書について、総合的に見てどうか。
- (選定委員) 東書については全てのバランスがよかった。内容項目だけでなく、文字や挿絵

も含めてマイナス点がなかった。

(選定委員) いろんな視点で見ても課題を特に感じられなかった。押しつけがましいところがなく、道徳の授業で大事にすべき、道徳的価値観の広がり、深化が配慮されている。

(選定委員) 道徳のオリエンテーションがすごく指導しやすいように配慮されている。内容項目に偏りが無い。また、教師が内容項目に幅を持たせて授業を考えられる教材が選ばれているように感じた。

(選定委員) 題材の最初に、子どもが何を考えればいいかを捉えやすいように記述がある。低学年の子どもには、わかりやすく、とても親切だと思われた。イラストも親しみやすい。

(会 長) それは、低学年だけについているので、発達段階に合わせた配慮もある。総合的に見てもやはり東書がふさわしいという評価でよろしいか。

(選定委員) 異議なし。

(会 長) 議論もし尽くしたので、事務局へお返す。

(5) 教育委員会への報告について  
事務局より説明

5 閉会 (学校教育課長)